

平成 2 7 年度

決算特別委員会産業建設分科会
に関する追加資料

産業観光部

平成26年度企業立地促進条例に係る奨励金制度実績

企 業 名		指定番号	指定年度	操業開始日	平成26年度		雇用促進 奨励金
					従業員数	うち、亀岡市民	
大光印刷(株)	亀岡工場	第25号	H22	H22.5.24	52人	23人	辞退 0人
	亀岡大井工場	第31号	H25	H25.11.1			辞退 0人
小城製菓(株)	第2抽出棟設備	第26号	H22	H22.6.25	64人	30人	5人
	第5抽出棟	第29号	H24	H24.4.1			4人
	第1、2抽出棟設備	第32号	H25	H25.11.1			0人
中央技建工業(株) (本社工場)		第27号	H22	H22.9.6	41人	24人	6人
マルホ発條(株) (亀岡工場第11期棟)		第28号	H23	H23.6.1	228人	130人	6人
グンゼ(株) (コーティング第3工場及び エッチング工場)		第30号	H24	H25.1.7	213人	135人	5人

亀岡市企業立地促進条例で規定する下記の要件を満たす場合は、指定工場等として指定し、奨励金(企業立地奨励金及び雇用促進奨励金)を交付するものです。

【指定工場の要件】

- ①投下固定資産総額が5,000万円以上であること。
- ②操業日現在における常時雇用従業員数が、新設にあつては5人以上増加、増設及び建替にあつては3人以上増加(操業日の6ヶ月前と比較して)であること。
- ③常時雇用従業員のうち、本市に住所を有し、かつ新規に雇用される者(新規市内従業員)が1人以上であること。(操業日から6ヶ月前以内の間に雇用のこと。)
- ④特定地域に立地するものであること。

平成26年台風11号豪雨災害に伴う小規模災害復旧事業 町別リスト一覧表

連番	町名	大字	小字	番地	復旧事業申請者			復旧事業費		工 種	備 考
					住 所	組織名称	代表者氏名	事業費	補助交付額 (補助率90%)		
1	東別院町	倉谷	上疆地	6	東別院町倉谷上疆地40	東別院町倉谷区	区長 佐々木重雄	802,332	360,000	農地	請負
2	"	倉谷	上疆地	11	東別院町倉谷上疆地40	東別院町倉谷区	区長 佐々木重雄	640,440	360,000	農地	請負
3	"	栢原	二料谷		東別院町栢原上日影65-1	栢原農家組合	組合長 江見 峰雄	280,800	252,000	施設(頭首工)	請負
4	西別院町	犬甘野上ノ谷	下羅谷	36	西別院町犬甘野小谷10	犬甘野上ノ谷農家組合	組合長 神崎 弥	505,184	360,000	施設(用水路)	請負
5	"	犬甘野上ノ谷	間	24	西別院町犬甘野樋ノ口1-2	農事組合法人 犬甘野営農組合	組合長 和崎邦夫	388,800	349,000	施設(用水路)	請負
6	"	犬甘野上ノ谷	野畑	13	西別院町犬甘野樋ノ口1-2	農事組合法人 犬甘野営農組合	組合長 和崎邦夫	168,480	151,000	施設(水路)	請負
7	"	犬甘野上ノ谷	下泓	3	西別院町柚原佃17	西別院町自治会	会長 廣瀬 一夫	279,450	251,000	農地	請負
8	曾我部町	中	中小路	76の1	曾我部町中前通20	曾我部町中区	区長 和田 茂明	54,000	48,000	施設(水路)	請負
9	"	犬飼	難羅		曾我部町犬飼前川11	曾我部町犬飼区	区長 松岡 幸治郎	190,080	171,000	農地	請負
10	吉川町	吉田	段ノ坪		吉川町吉田段ノ坪11-1	吉川町吉田西区	区長 美馬 昇	368,928	332,000	施設(風船ダム)	請負
11	"	吉田	下河原		大井町並河1丁目21番12号	西台嶋(水利組合)	代表 田中 栄一	367,200	330,000	施設(水路)	請負
12	稗田野町	佐伯	岩ノ口		稗田野町佐伯斉ノ神12	稗田野町上佐伯区	区長 大石 慶明	389,664	350,000	施設(水路)	請負
13	稗田野町	佐伯	岩ノ口		稗田野町佐伯斉ノ神12	稗田野町上佐伯区	区長 大石 慶明	372,384	335,000	施設(水路)	請負
合計								4,807,742	3,649,000		

事務事業評価表

評価対象事務 事業名	安全・安心の農産物栽培支援事業経費
---------------	-------------------

区分	No.	評価の視点	評価								
目的	1	目的設定は妥当である。									
	2	公的関与の範囲は適切である。 (市がやるべき事業か。)									
手法・活動実績	3	手法は適切である。									
	4	活動実績は妥当である。									
成果	5	成果の取り方(指標)は適切か。									
	6	十分成果があらわれている。									
コスト・財源	7	コスト削減の余地はない。									
	8	財源は適切である。 (受益者がある場合には、受益者の費用負担は適切か。)									
課題・方向性	9	公平性が評価できる。 (市民受益の範囲は公平か。)									
	10	他事業との類似性、重複はない。									
	11	事業を休止・廃止した場合の影響が大きい。									

★評価は○△×を記入

委員会論点	安全安心の農産物生産振興につながる効果的な施策であるか。
-------	------------------------------

評価	休止 その他(廃止 継続 (現状維持 改革改善 拡充)
意見 改善点など	

事務事業評価表

評価対象事務 事業名	観光PR推進事業経費
---------------	------------

区分	No.	評価の視点	評価								
目的	1	目的設定は妥当である。									
	2	公的関与の範囲は適切である。 (市がやるべき事業か。)									
手法・活動実績	3	手法は適切である。									
	4	活動実績は妥当である。									
成果	5	成果の取り方(指標)は適切か。									
	6	十分成果があらわれている。									
コスト・財源	7	コスト削減の余地はない。									
	8	財源は適切である。 (受益者がある場合には、受益者の費用負担は適切か。)									
課題・方向性	9	公平性が評価できる。 (市民受益の範囲は公平か。)									
	10	他事業との類似性、重複はない。									
	11	事業を休止・廃止した場合の影響が大きい。									

★評価は○△×を記入

委員会論点	・るるぶアプリは観光振興につながる効果的なPR施策であるか。 ・広域連携による観光PRの展開は。
-------	---

評価	休止 廃止 継続 (現状維持 改革改善 拡充) その他()
意見 改善点など	

事務事業評価表

評価対象事務 事業名	安全なわが家の耐震化促進事業
---------------	----------------

区分	No.	評価の視点	評価								
目的	1	目的設定は妥当である。									
	2	公的関与の範囲は適切である。 (市がやるべき事業か。)									
手法・活動実績	3	手法は適切である。									
	4	活動実績は妥当である。									
成果	5	成果の取り方(指標)は適切か。									
	6	十分成果があらわれている。									
コスト・財源	7	コスト削減の余地はない。									
	8	財源は適切である。 (受益者がある場合には、受益者の費用負担は適切か。)									
課題・方向性	9	公平性が評価できる。 (市民受益の範囲は公平か。)									
	10	他事業との類似性、重複はない。									
	11	事業を休止・廃止した場合の影響が大きい。									

★評価は○△×を記入

委員会論点	補助金制度の実情から、今後の耐震化向上の施策のあり方は。
-------	------------------------------

評価	休止 その他(廃止 継続 (現状維持 改革改善 拡充)
意見 改善点など	